

70

65

60

55

50

花江都  
歌舞妓

年代記

二編

貳

津田文庫

文庫 1

1767

6

早

相田大学  
藏書

早

庫

傳内々山本京雲師秦の民船佐渡鷹長。八歳よとて宿七日。早庫の  
皇子中村源五。小野春風吸東豊三。小原一の子。尾上  
糸入舟。このとこそは安房民助。瀧野は山下金龍。神上人市川海老糸。太肅  
を大不動。時王の靈像。その形相よき。の御波の人物。人形。ごくの欲りうて  
えどといひ。行ひ工あれば。西國四國。う。空傳へ。然ぞ見物。が。旅宿。う。き  
安の死不見。う。よ。狂云。正月。う。七月。大入。潮。三月。ち。江戸。う。  
終。十。月。未。叶。二。月。廿。日。隨。眷。覺。性。信。士。ト。す。と。ま。せ。の。状  
ある。嘗。忌。か。一。日。の。体。の。外。う。と。ふ。柏。延。熱。傷。う。だ。う。海。山。と。隔。と。ま。ば。ま  
あ。せ。ど。お。と。華。と。と。と。

梅らるや三年経へとぞひりくゆ

星合景清

思七

此。二。の。不。思。想。の。か。手。も。の。放。を。述。も。あ。の。豆。の。八。月。十。日。う。  
岳。周。宗。清。海。者。彦。左。官。と。毎。つ。梶。木。が。御。室。へ。至。平。家。の。赤。旗。と。論。旨。と。取。旨。の。付。  
太。肅。り。四。裏。同。お。ね。そ。け。ん。と。面。打。て。和。の。え。奥。き。赤。を。の。名。を。く。笑。尉。幼。眼。う。を。吹。き。  
武。恩。恩。變。變。若。七。面。の。形。箱。の。内。う。づ。う。の。面。を。生。モ。下。の。自。物。へ。づ。う。れ。ど。中。う。上の。

又物大辨利八月廿六日下

土佐次郎妹脊鑑

土佐次郎と百姓安岳衛の二役辨利下。廿六日

又名残標人

東山假相扁

土佐次郎と百姓安岳衛の二役辨利下。

雲小のすすきの洋紙そとの布子ふ一本力。鼻捻せ縷ふす。つめ役のりの跡まで。山谷久國  
色ふうて端からあらびね監が後家からと云。若丸と白枝うち門を拂ひと云する。  
もと詮義がまくぬとして山城権を支が連あり。假吳差を引へ。久國又取まれ。名守  
山三がお役不破の健をうと名守。上下大小をゆる。家督室めの達合。ある。山三が  
き家の要素閣の一間(上)。障子せよ。山席と詞ある。山三より次負せ。久國が続く  
か。久國とこう。東山の家へは健を重が納ると。要るの度をあんぞ。一味のてつよんせ  
久國が益か。世懐中の室を傳え。山三がも玉姫と。主事起と久國とおどむ。右義の  
実ての見物のえ丈。辨利大赤り。二重圓二役荒獅子男三助が女房。山科が完から三八の役。  
をあくまがくとせぐ。弱者の出。男三助方ふ計し。表毛丸と。奪ひと。妹をつれ  
荒獅子のかくす。男三助と別ぐ。もう三助の仕内。今三ヶ津よ道外の上りが五五。ねがつ  
てくらるるものあり。何世。哥姉妹よもじ。け後すく。皆上りと。新波の辨利よあつ。  
次に木造左の手打獅子のあべつ大赤り。甚は男三助が知役をせと。升のまう  
と娘盤よけ。あつ。

同寛保二年

春江戸サニ居たて。五月二日。中村を

娘曾我亂庫八島赤次

村の長十席よ沢村家十席。ひざらのやうす中村家八席。玉屋をね半四席。近江小安太  
弓見市四席。あみの澄入中村助八席。そぶの一万濱中条川。同翁王沢村すみ井。冠者  
おだひら佐の川市ね。鬼王影三席市川園。お多三席。名守。中村富十席。二重圓小性  
吉三字の井。八百屋久吉園。家六席。娘ち中村富十席。ごくへりん侍吉幸四席。かよや  
と娘盤よけ。あつ。

武三糸大谷前左。八百屋ごく三字と。龍音ハ。侍東秋清家十席。女房もくろ佐の所  
万糸。一子子半席よ市ね。大原のそら富十席。一重圓よ鶴の不破の。小原のよよ富三  
云。大原富十席。お七席。市ね青八。夜の徳笠の不破。淨多。江戸河東大辨利。浦  
山時松本。ま西席。夏の市。希多。奉名京の次席。室の男立大赤り。辨利元  
寔源。三部卷。位。上上吉とある。同春市村社

(富見里榮子) 我

二

十布祐成字をも。又布寔家市村滿義。短ひるふ原尔又布。對面あらわん祐成人面おもて诊疗えいりょうを  
がひ河津分顔おほふ似そ。时宇よ詠うたひをうひとせめ。又河津の執事じしは取と法ほうの行おこな  
來きて。又布より赤木の一腰いちよを後あと。时宇とき争あらざりのよめん。人面おもて诊疗えいりょう本家ほんけをも。ひの旅たび  
りのよ。顔おほと身みと不ふちを病びやく。川瀬川瀬かわせにせひせひもどりの役わら。祐成と今後いま後あと七  
変かげ化かげの至いたれ。廣治こうじの弟おとの烟たばをも。平名鬼王ひきおう形かたちをも。吃くりみて友切ともぎれせんざの為ため。女めがう  
おうねふ御川瀬ごかわせ治はら布。又人往來むかわの者の刀と柄つかをぬき落おちさぶる。大波車おほは車くるま小條お  
の酒宴さけうたんの場ば。おひのふ假うそせんとだだともかうへなゆゑ脇わきをこらへとぞを。女房めぼうがうむ  
ようつて推おの本もとのゆゑゆゑ片かたと參さんあひて打刻うちくべ。河津かわせがうひごよ付つけす。言ことの矢やの根ねとえ  
あらへ。夫おうれしひりふ歌うた。のらふ大隊だいだいの虎とらが石いしの下穴あずまあな鶴つるの声こゑとぞうまる。友切ともぎれ  
丸まるのきとある不ふ大評判だいひやうばん。ばね云いふ近江おうみ八幡はちまん。中鷹なかたか三重みえをも。本名鬼王庄ひきおう左衛門さゑもん。赤あか沢さわ民みん教きょう左衛門さゑもんと改か。工く業ぎょうよをもとて實惠じゆい。後あとふ云いふよこうする。三重みえ同ひと川瀬川瀬かわせ治はら  
石檣いはら。古今大入おほいり大出おほでりえ。四月四日よしよ河原かわはら治はら。江白和えいぱくわ曾そ源げんの教きょう中村七郎ちろう。源げんの教きょう中村七郎ちろう。  
室三布むろみ伴とも打門うちもん三郎さぶら。又祐成經き坂田さかた十布。日ひさよ辰岡たつおか之の桑役くわわら。役者わらわす人ひとみそ不ふへう。中村七郎ちろう狂きょう歌うたとせばばて。切きよ勘かんみみ島しま上う。評判ひやうばんぞうめで不ふへ。七

七月十六日か女夫星福色甚めぞのゆきふくいろ山三布さんよ家十布じや。はなへよ幸四布こう。岩見いわみ左布さを下くだり中山射九布なか。仁木入いんと大谷おおや射左さ。勢せい須す甚六じん嵐らん青せい八やかか。田たとみ佐さ佐さの川かわ市し松まつノの川かわ。がん林がんりんのむむくさ川かわ万葉まん。がくくた中村  
富十布とみ。羽はやへりへりと二にまま同どうよ大山おおやま。九月九日こう日ひよよ市しねね左さををきき。後の月つき音おと同どう音おと名残なごり云いふ中山射九布なか。大和國おおな射九布なか。孤不化こふか坂東ばんとう彦ひこ。早は候ま。川瀬川瀬かわせ治はら。大蒙考だいもんこう七しち腰こし。二に重じゆうをを。平間ひらま三布さん市し山やま。栗生くりう市し村むら宇う。女房めぼう向むかへ。川瀬川瀬かわせ治はら。無む目め不ふ入いり。評判ひやうばんををり  
ええ不ふ入いり。同どう顔おほ人ひと世せい中村七しち郎ろう。頃城赤坂山ごうじやあかさかやま益ますなな益ます長なが。實じつハ源げんハ源げんののう。輕字軽字十布じや。雙よ井いの大名度治だいめどじ。坂東入いり通とお平ひら。四よ布じや。懷いだ島しま權けん。江え島しま。平ひら。門もん堂どう大谷おおや射左さ。大田おおた市し佐さ。市し佐さの川かわ市し佐さ。大谷おおや射左さ。富十布とみ。被は朝あさ世せい戲あそ中なか。川かわ射さ。被は朝あさ。實じつハ食く射さ。益ます長なが。坂東ばんとう。不ふ敵てき。元もと被は。被は食く。富十布とみ。山木利家やまきりか中なか。村助むらすけ。又また人のひとももひひりりとと止とど。不ふ。舞臺まいだい。ももりりてて元服もとふくののう。改か。是これの紋もん。是これは舞まい。後の年ねん

家十布寄手とあり。又妻子とある。二代因沢村家十布是く一をもて度治役跡にて  
何時がどのどと喫。位牌を持て赤沢山の角力出でて。せんじに本万栗とある。と  
六生見。次よが攀るより普賢の像となり。ち砂富十布と連立。益也よのやかを  
八町人との幕大盛り。二代因家十布七三十七年。町人我坐してちくみて追  
きされ。店舗へ立よ。西の中と火爐よりうづら出。女房ももす鼠富ミ助が贋氣  
をえび。うち枕の中より匂簾を小条下り。其後長町の宿へ店久て二階通店  
くせへ度治にてはなれ。夫婦が女房へ。三うへせ。辰姫富十年也。ゆてよのひも  
そが女房ももす鼠富ミ助。二階うへて被て楚  
とて白水とも窓よりこねど。うくのち。織ニ魯人上ひのとく令と。諒利。ゆ  
松島屋平治家と名をう。と傳。三唐打櫛と說。もよかと。諒利。ゆ  
て辰ひ乃富十布侍を唐と。次ちて表内たうの夫婦と物語て。七三唐卓よ  
懇歎をそのちよ。不善者引とづと。傳。三唐七三唐が攀るをう。攀の說者の  
言ふ像也。空の源の物語とする。その如絆。かづれ。かづれ。とくやると。諒利。今  
の世す。も古者の物語とせば。傳てりよ。太歴く。同前。世市村。片へ。〔振袖信田つま  
のばのせぢ〕  
安達家任政東京。あぐの貞任市川家主。信ま。首を娘宮。の御川。是年。五  
の海孫。三郎市山侍空。簾糸の捲入。布取東又を。八年。ばんき。平市村。波多。あぐ  
の安。市村。左。女。やう。下。下。尾。上。柔。ス。布。一。や。厚。金。の。が。玄。同。女。と。畠の  
ま。庄。富。波。辰。十。布。支。人。家。任。彦。二。布。ト。テ。法。の。印。可。と。ゆ。の。不。大。諒。判。柔。ス。布  
孤の不絶戸屋の道端。中筋。二。布。左。う。うち。左。右。は。肩。青。ハ。う。河。京。岡。左。う  
長。勝。う。び。左。高。吸。四。筋。十。布。斤。桐。波。セ。露。屋。南。北。花。木。の。ま。嵐。森。代。十。布。匂。當。内。  
山。本。東。糸。摘。正。行。市。川。糸。糸。口。上。は。成。ハ。中。村。主。お。果。す。く。又。よ。考。ナ。セ。ぬ。せ。い  
ゆ。ひ。の。き。を。解。か。と。り。海。者。並。直。射。左。う。の。か。ア。一。の。う。縦。塚。角。か。ア。の。茶。こ。タ。ゆ。う。役。今  
す。人。と。一。表。耳。え。ざ。海。老。糸。と。准。と。う。づ。き。あ。う。た。大。入。う。大。蟲。う。す。り。當。年  
若。月。京。朝。中。村。堺。代。三。歳。  
春。中。村。主。門。緑。常。盤。不。小。林。お。ひ。み。大。吾。度。治。京。波。糸。と。キ。主。ニ。ヤ。く。沢。村。家。主。糸。

〔亂陣太平記〕  
相。や。を。高。よ。市。川。海。老。糸。那。田。よ。貞。中。村。七。二。布。准。谷。判。官。二。襟。勁。冬。  
長。勝。う。び。左。高。吸。四。筋。十。布。斤。桐。波。セ。露。屋。南。北。花。木。の。ま。嵐。森。代。十。布。匂。當。内。  
山。本。東。糸。摘。正。行。市。川。糸。糸。口。上。は。成。ハ。中。村。主。お。果。す。く。又。よ。考。ナ。セ。ぬ。せ。い  
ゆ。ひ。の。き。を。解。か。と。り。海。者。並。直。射。左。う。の。か。ア。一。の。う。縦。塚。角。か。ア。の。茶。こ。タ。ゆ。う。役。今  
す。人。と。一。表。耳。え。ざ。海。老。糸。と。准。と。う。づ。き。あ。う。た。大。入。う。大。蟲。う。す。り。當。年  
若。月。京。朝。中。村。堺。代。三。歳。  
春。中。村。主。門。緑。常。盤。不。小。林。お。ひ。み。大。吾。度。治。京。波。糸。と。キ。主。ニ。ヤ。く。沢。村。家。主。糸。

時家佐の川市松十布秋國吳川四疋半五布。大限のうち嵐富三枚ハ薩の三布  
中筋勘左衛門堀原源を大谷村左衛門が引取る中村助八布。二支同も深よ富十布。  
又松よ佐の川市松大南ノ同春市村彦（春暁廊）十布祐成十布。八布時宗  
市村滿兵。子義左衛門市川家三。鬼王引左衛門市山侍八布。月正よ次村義義。どう  
ニ三布嵐音ハ終ひひ坂東又左衛門。鬼王七日めかむつ嵐玉柏冠者づれ坂東  
彦三布。大碌三浦屋のから川巻三枚。お云うとこと解判わろし。月  
正よ次同波沢の門神比丘尼御川巻三枚。同宿白雲尼波村義義。惠雲尼波  
中あ院阿古ヤ寺妙善五國。け尾上巻三枚。若丸モ門神の狂言大島。七月近  
大入。七月十八日が曙ちがの名節。後同假名書東籬。然谷の小山布並家吉三  
字教定蓮生家三。あうりのまどひのせのみあ巻三布。お玉が池のより波川巻三枚。  
鬼王牌鬼ひ布ふつて市村彦左衛門。中村彦今年大坂天王寺聖  
徳太子江戸湯島天神ゆて用帳めりて持込。九月五日（大和唐三盤）。日羅乃軍奈  
度治。じゆかの大臣波村宗十布。守屋大臣の靈と守屋娘美絶市女二役松木幸四。  
波防波舟かお川四布又郎。毛澤志ん王佐の川市松。核りきの王子中付助穿。稻月  
吉日十音。うつ中村彦（吉野佐末酒）。度治あるの考熱富十布。うごの小六。比企  
の判官助八布。度治の太とそと萬り。討とう助穿。解判日。すすり出世。秋慶店  
今川弓後大島。松本章四布。うつ大島。市村九月。よき。忠臣。の。軍達。大  
雀官内よ波東産三布。一子大雀ちくら佐の川京七宮内女房。うせ波川巻三枚。仁木  
達。うつ中筋三番をつ。家老須。一子市川家三。細川吉西。あみ助。うりと市村。よき。原  
と義七筋の川手。激田勘。よし大和川。母三布。うるぬ金六。波川。うちの。官傳。波川  
ね。あみ代。うそやの。波川。嵐音八。如房。すたう。で。嵐玉。楊長谷。長太。中村。八十吉  
す。松。す。仙國。左十布。毛澤。波川。見。永。毒。助。生。島。又。孫。波林。室。セ。村。上。常。ひ。足。波  
足。波。寺。波。市。左。よ。市。村。室。左。よ。大。解。判。大。島。之。

は右臣侍はま保十八年丑十月。大坂豊竹越前様存。淨瑠璃ち医令經冊並本家助  
船みそ流り。江戸みて仰り。享保廿九年中村存。猩様丸々錦とのふ狂言よ。大坂  
宮内の役。次村宗十郎勧る。是を始と。又廿年津打派を勧。船みそ市村存。右臣は車  
詔大巻宮内の役。坂東彦三郎勧る。友人名人上手一二の才ぶめ。

吉井沢村宗十郎中村十郎存。是る。朝鮮人中村を

載貞太平記 呈利ま氏度治。同車義中村繪十

布。ごの天皇御平治。村吉彦四郎赤川善義。大澤寅四郎。大坂中村繪十  
勘をう。大谷鬼吉。坂東彦十郎。大巻彦七の役。つづのちが天王寅五郎をす。  
中出助け。坂東彦大澤の家。次年。時定のうちとて。赤ゆき上下的木。改め。聚をあらびとて。逃  
走するの皆を捨て。坂東彦の不。大澤寅四郎。大坂中村繪十。赤ゆき上下的木。改め。聚をあらびとて。逃  
内は助け。坂東彦大澤の家。次年。時定のうちとて。赤ゆき上下的木。改め。聚をあらびとて。逃  
えを射す。殊六入矢をひだつま。ハ暫と。文字よこ。時よそ。氏暫と。ハ何んぶ。や  
と。ゑひく。あがくと。吉例の柿の素袍。大き角。ぐづの出端。是る。氏よし。ひよ  
要清湯のかへんと。ち人の女をしませ。青絞刀をひく。義員の仕とて。あらびとて。外  
外よし。ひくと。の大洋別湯よ。

# 櫻痴開羅

程福淨

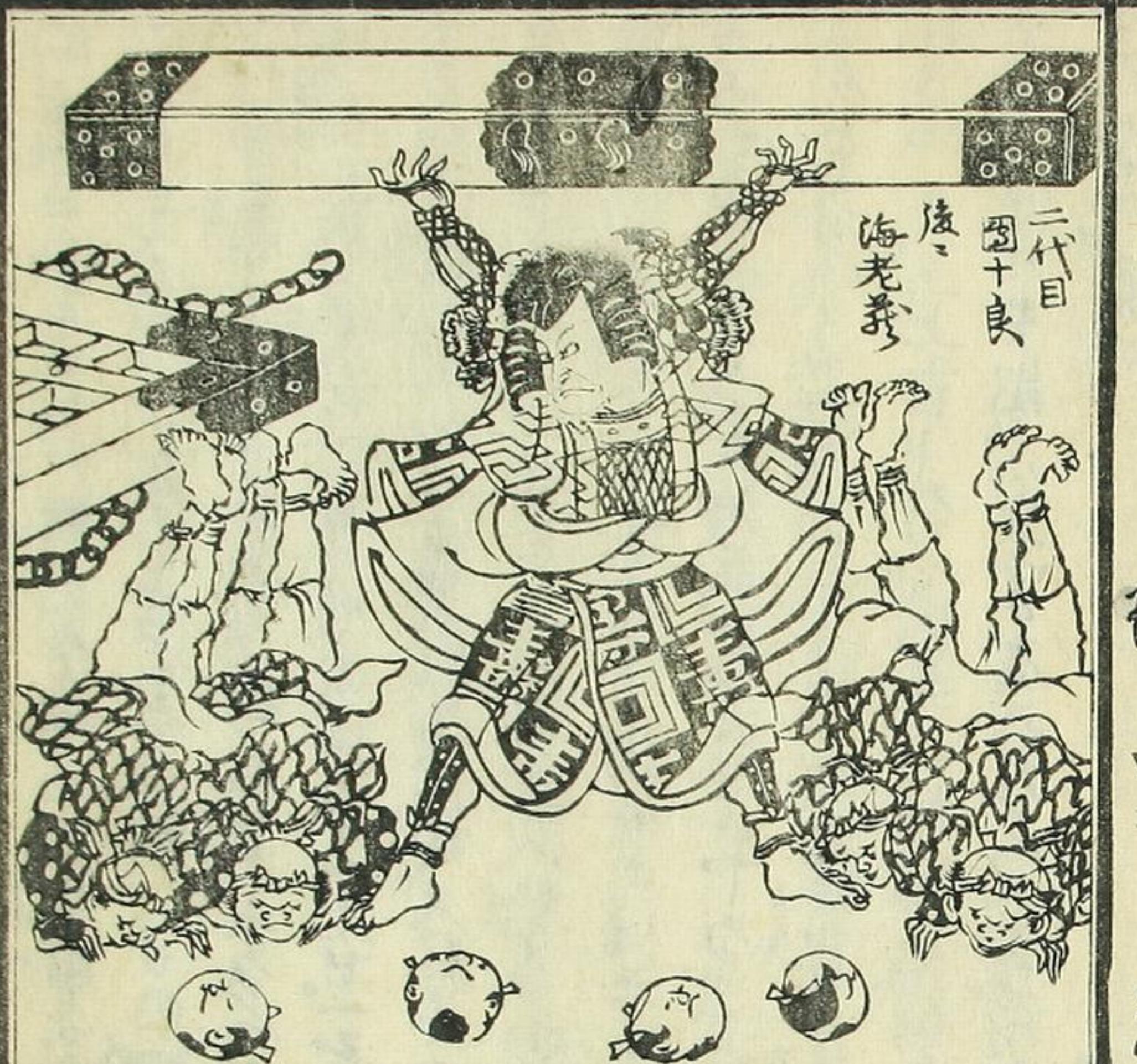
大薩摩主膳奉矣  
同若大矣岩雲

三歳縁荷屋良

赤川海老義  
多仲

太皓不仕作

ワキ



大澤寅五郎のあの方。一ノ瀬の園。芋屋の庄司。四郎存。大  
澤寅五郎の娘。おほぼ。はいふ。引子。首打派。大勢  
の伏主の園。おほぼ。の庄司。中村勘兵衛。金舟を直す。  
上とある。おほぼ。おほぼ。金舟をあらじ。母を赤戸も  
すすむ。打ふ。おほぼ。三ノ瀬の園。おほぼ。の庄司。小太郎左衛。  
大勢を打ふ。大巻彦七。大澤寅五郎。おほぼ。おほぼ。金舟を直す。  
金舟を打ふ。おほぼ。おほぼ。金舟を直す。おほぼ。おほぼ。金舟を直す。  
大勢を打ふ。大巻彦七。大澤寅五郎。おほぼ。おほぼ。金舟を直す。  
おほぼ。おほぼ。金舟を直す。おほぼ。おほぼ。金舟を直す。

同主賀海老義。戸野の主閣にて。呂服よ山本京矣。とのねまみみそ。さひ号の女房よりびく菓のあよめい。誠一の呼もるを実の夫。牛糞太珍ち度へ始。えつひをよ詮りて死あり。後も笑ふうと。叔父負ふる。深頌せすむ付と額ふ燒手のやう大と引出で。大珍きよ見せ。一ぞのうちよす時一味の考めとこと。さう多く幽きひ。汝事入れ事の時。大珍きが刀の柄おの見と見るをあゆみ。りののちあるアシカ刀と大珍ちが刃の身入替りの豆。武貞の作よううそ。墨切と筆し。鬼丸の力。産養もるす。もううづめ大珍ちが刃とアシカ刀がうづむかく。ねも魯丸みてゐずよみ。大烈風。我みがヤマトと。怪仕内。がそ多くニチの洋みよ御するものなり。イヨ市川あぐよの名物富士よ湯での海老義と。洋判記す。大合度店。大上上吉ト。此年の洋判記。ね元東ニ葉通り。寺町霧合處ちも。正本屋九キ閣。ハ文字を八左も。同幸市村舟。石居太年記 びんびの三波東  
夷三席。長崎しげ也。大松本幸四席。大波民谷十波。幸時ひ透。中野三浦をも。藤原市村櫻舟。浦不傳。本名二階堂出羽入道市山侍。大波  
幸もひと尾上。幸代十席。迎松則。大嵐舟。浦ひもあら舟。下り。浦川葉落舟。  
細やかな。市村宇だつう。洋判むうりふく不入。河原櫻舟。花時移東温  
遠良武者盛遠風。舟十席。ユ首金石丸三條勘左多席。佐良列友仙玉賣  
十席。幸日望。舟へ四重。嵐幸代十席。猪の早。市川和十席。女鶴波。村  
幸をま。役者不足みて不入る。 寛保四年 春市村舟。七種歸吾 云者。左の林野  
波東夷三席。舟の十席。市村湯舟。林内方辰夜。又。せんね本幸四席。鬼王。舟五席。市  
の源。幸市山侍。舟。林内方辰夜。又。せんね本幸三席。小波。舟。林野。中山ら  
助。舟。幸の舟。太左。大各度七。湯舟の男立。舟。三席。幸。舟。各度  
ひ。中島。三浦をも。ユ。林内方辰夜。又。舟。幸の舟。五席。幸。三浦  
と。名。さく。舟。入。こ。じ。尾。が。風。情。と。よ。木。雪。の。常。世。の。娘。と。く。あ。く。と。そ  
不。め。り。終。よ。ち。尾。が。舟。と。打。それ。よ。う。女。林。野。舟。幸。三。浦。十。舟  
の。血。と。心。を。呑。せ。れ。お。す。む。舟。ひ。づ。け。て。追。あ。る。吉祥寺の裏門。す。辰。夜。又。よ。教。え。す。  
ゆ。お。七。や。づ。の。お。般。の。不。柔。治。舟。大。通。り。三。舟。ち。尾。幽。魂。う。げ。の。辰。市。村。

清秀勤る。長三の坂田兵四郎。松島庄左郎。松島重十郎。三味宗梓や助をもつ。  
三七。左衛門三十郎。須川喜四郎。小つまみ宇野長七。大つまみ大四郎をもつ。とまう飯田。  
平右衛門。笛西村三四郎。舎田庄八。とひこ山名文治。益田助三郎。何とも出でて出  
雑子あて糸ふ。桑治郎が七まで寝ともゆく。土手の豆籠(とうろう)達ひ来る。する尾が  
家のよくふ人居る。あくまでも向た紙のとがひぐくといで。下へ落ちる。する尾が  
あくまでも下より市村清秀。契情をござみて生る。トあくまごのあともとまつて居る。  
とむりつうと宮戸川と謂ひ。まお今もちゆ。七十年のむすとらふ。つぎよ  
おさな本音う。仲のよきれき。常世の娘がりゆふとあると改めて。なげぬかくも  
アヘ。并長がまのこん骸骨生て。恨とりよ。字をうがひこうの多能。併あり。村彦  
恨の白骨。幸四郎。辰やすやの大で死ゆ。大高(だいたか)り。寛保四年二月十五日。元祖  
中村勘三郎より。幽年を百二十年の壽。市川海老(ひじり)善。大谷廣治。舞臺  
ふちの猿若の衣裳。令の麻毛を披秀一。家のねき門松巻平の綱引三百がある  
法乐(法樂) 同甲子年 春中山 庄 硬赤廣源氏 あんどうひより 益遠市川海老善。鬼王新  
たまう大谷廣治。ひまやいりづの大ハ。冥やニ最極往市川家三。又附のえ郎大谷鬼  
庄。また田よ市市川喜三。京のようどもあ川四郎六郎。深の江にて中村七三郎。  
けごせんひ波才次郎牛糸丸と二役うそ。立條の橋のえ。平の家盛大否彦(ひこひこ)うち。その二方  
湖川合流。赤葉(あかは)三坂田忍良子役(ひこひこ)め。鬼王(きおう)廣治(こうじ)とびの太郎。江戸松(まつ)伝(つた)ひ海(うみ)お義(よし)。五人を車(くるま)に出。二番家三と對面の不(ふ)やうらに評判(ひやうばん)。二ぞんめ江戸男(まこと)立白柄(しら)組(ぐみ)。び  
城の蛇(へび)えちよ市川勤十郎。同(どう)りまことの金五(かなご)五(ご)次村喜一郎。因(いん)小(こ)さき小平治(こひら)よ  
坂東(ばんとう)強(きよ)之(の)郎(ろう)。少(すくな)い小平治(こひら)よ。因(いん)一時(いちじ)清(きよ)き周(まわ)市川引四郎。江戸男(まこと)の  
親(おやぢ)ひだりひ長(ひさ)き景(かげ)大(だい)谷(たに)廣(ひろ)治(じ)。大坂(おほさか)男(おとこ)立(たつ)志(し)揚(あげ)組(ぐみ)。ゆの千(せん)ち市川助(すけ)六(ろく)。  
同(どう)ひの庄(やう)三(さん)少(すくな)國(くに)や京(きょう)五(ご)郎(ろう)。因(いん)まことの文(ぶ)市川久(ひさ)三(さん)。因(いん)あんどうひより市(ま)  
市(ま)川(かわ)金(かな)三(さん)大(だい)坂(さか)男(おとこ)の忍(しのぶ)志(し)揚(あげ)組(ぐみ)。市(ま)川(かわ)海(うみ)老(おとこ)善(ぜん)。小(こ)性(せい)梅(うめ)三(さん)兵(ひょう)四(よん)郎(ろう)。市(ま)川(かわ)男(おとこ)の  
をもぐの長(ひさ)き景(かげ)大(だい)坂(さか)男(おとこ)の忍(しのぶ)志(し)揚(あげ)組(ぐみ)。志(し)揚(あげ)の門(もん)をもぐと生(う)の主(し)合(あわ)の  
もう大(だい)坂(さか)男(おとこ)の忍(しのぶ)志(し)揚(あげ)組(ぐみ)。同(どう)中(なか)村(むら)彦(ひこ)狂(きよ)三(さん)唐(とう)山(さん)の渡(わた)月(つき)おちよす。主(し)の關(せき)傳(つた)ひ  
厚(あつ)名(な)の色(いろ)韻(いん)。又(また)あくまでも叶(は)付(つ)事(こと)をもとめ。主(し)の關(せき)傳(つた)ひ。又(また)あくまでも  
う孫(ご)孫(ご)孫(ご)仙(せん)人のまことひもく我(わ)意(い)を吹(ふ)き。此(こ)つて共(とも)ハ丁(てい)の裏(うへ)



## 駄鳥越闇

大谷鬼治  
玉沢左衛門

通行  
不純

市川葉三

新編古今著

幕末年

かせ

此淨菴はそんで次よ矢矧の長者や。あるうるう田舎よ城中初詣。梅三郎はおひら  
あらびんのあくまくとあくまく。海老井が鬼宿のうづけをもつての  
テくを三のせる。未だうゑあれあれあれあれあれあれあれあれあれあ  
よ。老の後家よ経左のよ。中村七三郎男あみよ月見の本。えあわとかゆ。うきい効う  
ま居まやう。おなじとあらうの女形が立つひののかどうかへばせ。淨菴うゑをま  
一日もぐりよ  
お勤やうじ

## 百千鳥娘道成寺

宮古路文字太夫  
ワキ 宮古路志妻太夫  
三味線 佐木幸八

文覺胎衣  
糸引  
金刷  
風流  
元祖  
市川海老井  
大谷廣治

ワキ 宮古路敦賀太夫  
三味線 竹次平  
八



此在言道成寺  
不純のそド先

犯去。松島義平治牌打。ま吉三郎。海老巻子とある。うのへら重  
がそぞく。波風とう向ふ桟橋まで中のうあり。ひうへん鬼女幽冥るをのゆ  
中のうとて。幽冥はあつてかくすあり。近に尾上松助。九尾金毛の狐みて勤る。  
當二月廿八日年曆改る。延享元甲子年。七月十八日より市村辰。雷  
轟。助市村辰。かばき女太夫元お。圓渕川。柔次郎。ごちんの。おうち  
屋上柔次郎。山名家全。松本幸四郎。赤松正。市山傳五郎。二月羽  
生村。市村宇左多。よぢうよ傳五郎。同娘ちく。岩井森代七郎。と  
令ス布団音八。うさん和尚。角力取八角八番中村助五郎。と  
後日。淨瑠璃取初款付。細川家臣近衛隼人。坂東彦三と慶歎友たまつ。幸四郎。  
物の袖。仕込一。餘みてころん。隼人妻そのき。柔次郎。女ちくとあり。と  
う。若ううよ。又。柔次郎。音八。同く。辻淨瑠璃と語り。幼き主人とくわらし。  
奴林平二役。彦三助太刀。左うう奴ど助市山傳五郎。隼人妻清兵衛。沢村喜  
希。こげをあらん。詳判。何處大當り。柔次郎。柔次郎。柔次郎。坂中村十郎  
と見る。後者大金。延享三年と云ふ。非なり。



沢村宗十郎 大坂表 辰利去ル 寛保三年五月月中村主義彦

里利うり氣の役桶のとがかけのより。吉原通りのきをみて。後赤松塔  
正よ中村弘三郎。正下と盜を取つてをやの仕うち。塔よ上と辰利牛  
みで不入りしが。翌年春

大門口監製

足濃國ひらが山の城を新築

正六郎

とまど。栗田の家臣民経ち郎と名をえ。軍用令集る。いいろの街と  
又二歳同よ万能庵指南とれと出。浪人りのうそくする所大高り。四歳同様に  
とつ賤を改めの油賣り。ふこおの仕うち非人の獨身と。改よ味方ニ  
付。月代と利せうとあうと。よせ大鼓の音と。主の娘外山野を助けんと  
もひ捕人四方をとすと。油桶と。蓑東長禪の下を取半。改て姫セ  
表へた。袖ひゆと持て。二階うろ砂の上へ。昔々と。番井のあらうらねど。  
我が姿へとろくひりと。着行先と。教づるうち。二階させ上げ。追手ア  
ギと。十歳小糸まか九郎は生舎。門をとす。糸をぐみぬて。登若山体入を  
教與と。内斎はよ召出され。油更の物語みて。荒治郎姉川千  
兵を鄰。中村十郎と。まの見事と。主別と。江戸風の主流と。まの  
と大辟列大入りあり。

寛保四年甲子二月年号改

延喜元甲子年

本拠町河原邊役

芝居

加人

妻よ衣川義治郎。りうのぶ市川家と。畠の又郎ふ佐の川市松葉郎も  
三條勘七郎。かの、あら助奇川四郎三郎。げのせひうと山本京三。何も辟列

す。中村村人

花も本平記

五人や列を中村セ三郎。大きの事中村猪十郎。もやが  
次郎大谷珍方と。とてふこと打るがら。大うそ。長篠はるやと。否もふ活。  
女房吳叶。衣川義治郎。あら嫁み郎。萩野伴三郎も。新ん世同口上の  
不。呉牛楠が後家と。傍りあうと。とくうひのやこうられ。とりふかへ。うこの  
わの熱石寺市川邊老義新元世の山と。まうけ出。友人の役付と。扇と  
まう。本年中へ隨う。のびと。我木の乐をひきと。君ひよめづる。あく  
兼好法師みて。毎日舞をみて。狂う。その二二と。まう。

「おみくじの役者。引役走り。うよ。商る新ん世  
の身と。勘三からと。役田町。辯才町のうちありて。まう。

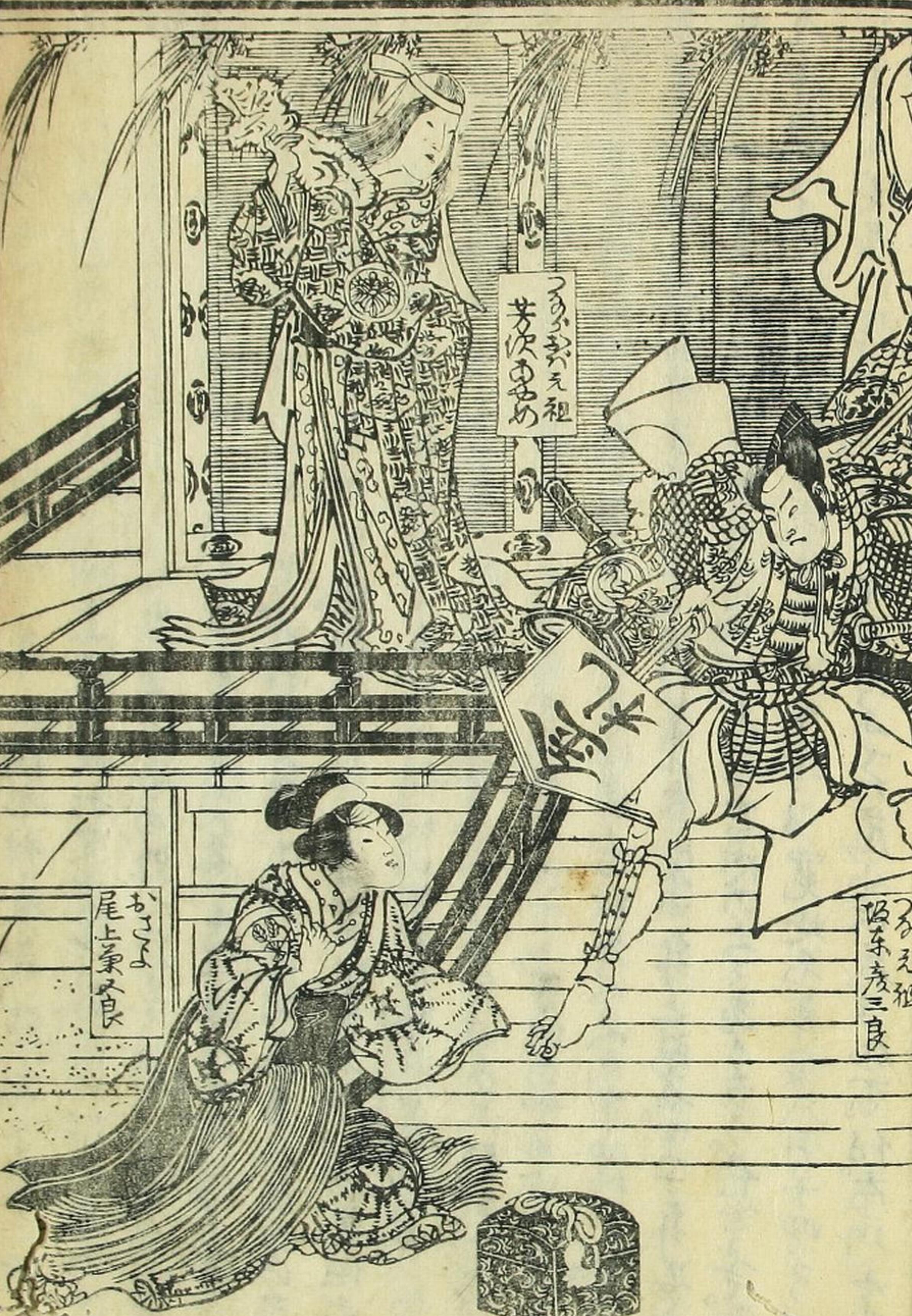
一 潟町の人と答ふやか若えとへづの河君で。沽合せたり  
斤桐子七傳三郎。まゆ塗りのやつて癡と廢内侍の由東天晴三郎  
桶が後家を承りて。長臂が女房と偕り。娘が首切て。かく孫三郎と後。  
鬼治桑子とゑぬ方より切うけと。三強ひいて踊りどれのよそをす。大浩畠山  
石の不動相違あしの狸子。太めう大入と市村座殿造源氏十二段 監賊張半  
然坂字三郎。奉名存勢三郎。沢村家十郎。同女房養浪嵐富三助。深谷令三王  
市村清彦。鬼一法眼波東をき。死ハごせん屋上栗木布を。ふごみをさせ。左のぶ  
字をも。家十六。友人うどうれ。後よ名まつ金和大洋刊と延享二五年 春中村  
舟羽衣壽子 十郎祐すり七三郎。又布附家傳と席。おひみ鬼治。巴ごせん大  
谷就左衛門。清彦冠者佐の川市松。おひみ中村猪十郎。又夏秋經字三妹志玉栗  
又桑治糸作。海老糸賤。工義本名桑清。而漁師向枝家三天の羽衣と  
おもて。かげ度よ首を赤。その首女房通ひ桑玉糸よ。とがをうととこう。  
ももう。ほよとあるゑけいせつとあり。やくわう七手糸が持。羽衣とぞうと  
ねまゆ。天帝の口があとさうけ。五表のうつと。一人の狂言をす。三才図より天人羽  
衣の不能大歎うたへうと。市村舟初音壽子 十郎祐放宇左衛門。又布附家傳と  
名して市村龜美。工義ニニ甫をもつ。キモトヨ彦三郎。のどやよ桑玉糸。宗十郎。油屋  
左九郎。本名桑清。大政のよしと重衡の娘昌みよび。左九郎の次女となり。娘を産  
さる。不。どうらおせを教へ二百枚の令とす。ぐんまの坊を助八布よ。あぐと妻うら  
のく。走上方の通り。江戸みてへ大てのと。森田舟春霞仙子 及東太郎。松平喜四郎。  
のづま治糸よ。川四郎。又布。武内宿禰辰十郎。けむきそとの老母養村せきえ。  
鬼王坂田辰十郎。友人妻魚のいあつふ翁。代のひいと。愛ふるむねえ。中村  
舟扇伊豆日記 焦野毎吉。海老糸。鬼若丸。鬼治。振袖にて荒る。ゑだ。おの  
ス。舟船本名股野又布下り。又川平九郎。近江の小倉太小室三。あくの土蔵場  
俵の、そと大禹。河はが後家を承りて。二年同鬼王引うち。鬼治。一丈人弟王  
と連雲まで乳糞ひ。風ねよ桑治糸。蝦蟇石。う一つの氣立と見る。何もさ  
あり。中村猪十郎。中村傳。名布と改名。奴丹前。えんゆき。ちぢみの不純。傳の奴中  
仲翁。子役みて勤る。生年八才も。舞の市村庄。婦楠觀慈監。翁四。よしご室。又  
入裏度セ。三郎浦の布傳三郎。をの武文市村龜美。大さらばん正助。翁翁。當

のまゝ柔らか。捕つま柔らか。下り芳沢のあらげ付大えつけの狂言あり。おひる海のいの小跡や。お川四郎。お姫。土犯の孫お姫坂四姫。政子の赤沢村守の井筒。大姫よ三條勘定お姫。何の辨別す。けが人世中村守く。柔治姫。方子。深川令を登。お舞。後は鶴次。又四代目。至十姫。お子と。宝暦七年。市川武十姫。夫。京。京大坂。二年。江戸へ下り。宝暦十二年。深み姫と改。末年。お麗姫と改。安永元辰年。松本幸。立役和歌上手と辨別。延享三年春中村守。

富士幸年貞

あひとハ薩摩奉名京清

海老姫。祐經富三祐。中村七三。時家鬼治。おひみ付。九姫。友人初役。三浦や。斤貝。馬鹿。圓七か。お姫本名樋原。姫大坂や。入辯。女房も。姫夫の。衣類を變ふ。入姑。姑は恩はせられ。す。念と。母へ抱き。次。お酒を。まんべて。まんべて。おれと。毒と。かく。代劫。おが。只。つ。き。込。こう。う。る。不。り。よ。柔治姫。中間の。うねの。そ。り。糸。あ。ゑ。け。い。せ。の。斤。圓。姫の。ひ。ひ。の。不。そ。う。び。毒。酒。を。の。三。て。姫の。姿。そ。り。狂。ひ。義仲の。妹。妙白の。よ。と。名。の。づ。福。口。と。本。弓。ど。の。ひ。び。の。物。酒。の。不。大。辨。別。海老姫。芦の。撃。の。達。ナ。何。ま。大。轟。ア。市。村。守。間。付。昔。考。我。物。活。工。者。祐經坂東彦。三。そ。が。の。十。姫。佐。姫。又。姫。市。村。姫。お。の。小。姫。太。中。村。助。姫。姫。合。の。対。面。伊。東。か。字。十。姫。多。賣。の。か。す。芳。沢。の。姫。珠。瑠。璃。の。徳。み。指。の。姿。と。あ。の。か。と。あ。の。う。裏。田。守。御。所。鹿。子。良。く。ま。坂。七。姫。範。松。平。幸。四。姫。佑。佑。玄。國。揚。ひ。め。よ。吉。田。義。四。姫。清。玄。松。平。幸。四。姫。大。辨。別。る。う。二。月。三。日。塙。ホ。地。よ。う。千。位。子。で。大。大。る。坂。町。さ。き。や。町。や。け。る。並。瑠。璃。出。本。八。月。と。中。村。守。新。う。と。智。加。倍。そ。の。べ。の。き。閣。百姓。ス。平。治。祐。治。正。宗。三。役。坂。川。平。九。姫。さ。の。晴。り。の。ち。の。ま。そ。の。べ。左。手。中。村。七。三。奴。妻。平。中。村。守。大。姫。う。と。き。ひ。か。玉。沢。才。次。姫。又。平。治。女。だ。う。坂。川。柔。姫。裏。せ。最。大。高。り。九。月。名。残。ふ。舞。五。五。六。平。九。姫。海。老。姫。又。額。の。隈。どう。を。受。了。ね。が。ん。あ。同。市。村。守。お。ま。い。化。者。津。寺。治。三。幸。東。ユ。夫。みて。浦。島。太。姫。七。世。人。皇。又。千。み。代。文。佐。天。皇。の。ひ。う。仁。寿。元。年。时。の。就。わ。六。孫。王。経。墓。う。人。皇。八。代。す。金。の。院。の。山。治。柔。姫。年。中。ほ。の。よ。う。終。す。三。百。七。四。年。の。ひ。一。月。の。狂。言。や。あ。う。た。ん。か。の。渕。お。西。今。り。ま。か。齋。が。ふ。年。いら。の。と。ま。せ。の。へ。寝。ん。ふ。い。き。急。を。た。ま。ひ。し。浦。島。太。姫。へ。保。家。の。ま。そ。あ。そ。ん。口。う。と。う。と。お。も。や。そ。七。世。の。ま。ぞ。あ。の。ざ。ま。と。千。み。代。文。佐。天。皇。の。ひ。う。仁。寿。元。年。時。の。就。わ。六。孫。王。経。墓。う。人。皇。八。



浦島太布。辰ヤ一也。市村妻。浦島治年と兩姓の  
令附沢村妻ス。あぐの法門と浦島ス。布沢お家十布。波辺の細くぬるる  
吸東彦三。モテアグがちと純友が女房芳沢めや。薄らひき。因原彦太。浦島四  
萩野佐三布。浦島四布。女房ちさよ屋上柔ス。布。中の海林三布。浦島五  
中野三浦六。モミアト。お軍太布。中村助ス。布。もの海林三布。浦島五  
と浦島三布。沢村妻。布。ほ安毒太布。とみらの深木。吸東又ハ。あぐの家佐アシ  
三四布。下畠山。モニウゲン幕。毎五歩。年号ハ。何代  
月の浦。吸東。モニアリキ。と幕の外へ出。口上よ述す。めびし。大澤列大入アシ  
中。モ吸東彦三。浦。と改名。モニアリ。京四條。安恩。山本  
沢村。井。沢村。小竹。改名。モニアリ。京四條。安恩。山本  
稟四。大坂主役。岩井。四。下ル。沢村妻。布。字十布。長十良  
と改。」四日。大岩宮内の大。島。大。行。先セヨ。井。大  
產。津。極。厚。井。田。生。雲。紀。之。假。名。本。忠。臣。後。寛。延。元。年。辰。八。月。十四。日。無  
行。モ。今。モ。芝。居。の。獨。參。湯。と。ある。中。村。舟。モ。大。島。小。島。子。の。不。化。市。川。字。三  
庭。紙。り。家。三。糸。車。名。う。び。め。左。う。と。る。ア。ド。ー。の。た。そ。花。ー。ー。大。出。來。之。  
豊。享。四。卯。年。

春市村。登。玉梯。難。曾。我。  
小柴。か。りん。と。八。百。空。で。うち。林。組。井。寺。四。布。ハ。シ。ア。リ。手。山。平。京。四。布。八。百。空。七。萩。野。佐。三。布。下。女。お。松。波。川。柔。治。布。小。姓。十。三。糸。車。麻。川。  
糸。車。柔。波。川。海。老。義。船。ひ。み。清。九。布。工。波。川。柔。治。布。中。高。三。糸。車。ち。う。額。の。小。え。佐。の。川  
市。松。工。波。川。柔。治。中。村。助。ス。布。佐。三。布。佐。三。布。中。高。三。糸。車。ち。う。額。の。小。え。佐。の。川  
治。島。方。走。助。ス。布。セ。レ。後。よ。ハ。ソ。ア。フ。テ。大。ト。え。レ。の。せ。ハ。ツ。擣。糸。車。柔。治。布。外。育。  
船。月。の。あ。の。身。脇。り。の。場。古。今。の。洋。列。大。島。り。中。村。舟。ヘ。  
書。初。ね。子。か。 舟。七。三。糸。車。  
奈。波。市。川。海。老。義。船。ひ。み。清。九。布。工。波。川。柔。治。布。中。高。三。糸。車。ち。う。額。の。小。え。佐。の。川  
市。松。工。波。川。柔。治。中。村。助。ス。布。佐。三。布。佐。三。布。中。高。三。糸。車。ち。う。額。の。小。え。佐。の。川  
治。島。方。走。助。ス。布。セ。レ。後。よ。ハ。ソ。ア。フ。テ。大。ト。え。レ。の。せ。ハ。ツ。擣。糸。車。柔。治。布。外。育。  
ア。ジ。法。女。ガ。う。の。こ。布。芳。沢。あ。い。市。村。の。洋。列。大。島。り。て。二。ア。ヌ。國。よ。峯。小。大。中。村  
七。三。布。の。こ。植。ニ。糸。車。淨。多。ク。機。搖。重。井。筒。宮。有。治。文。字。ち。ま。志。妻。太。夫。小。文  
家。方。走。希。ニ。傳。ナ。布。オ。や。カ。オ。三。布。吉。原。万。歲。未。よ。う。草。摺。町。人。艦。豐。佐。  
鷹。太。夫。三。味。線。竹。沢。草。立。昂。勧。る。其。犯。三。中。村。舟。  
菅。原。傳。授。の。習。鑑。 カ。ン。セ。ラ。ベ。七。三。

列。友。代。大。國。若。井。方。三。布。時。平。中。船。勧。な。う。松。王。九。大。谷。魯。治。女。ガ。う。お。代。嵐。

小六。松玉九中村侍九郎。搖丸嵐小六。女房八重。次村小侍治。春ふ西次才治  
布。さうゆきちと布。幼左衛門。奴宅内仙園左平郎。代目坂田家白太ま市川家  
三。まくらの里山布。源義女房。おみ。芳次めやめ。うそびゆきと。四さん目の  
雷神二。市川海老翁。何とも大商。市村屋も同蔵原。うきあわくぐる井  
寺四郎。義宗の時。平中侍。三甫。大商。櫻丸佐の川市松。同ハキあがま東寺。  
松玉丸中村助八郎。女がうす代深川桑治郎。白方丈山本東四郎。さくね  
太郎。次村喜平郎。武べ源兵もぎの侍三郎。女房戸浪嵐富士助。梅王なる  
市村角兵四郎。御ひうえ柔らか。女若丞相の大舜列。うー扇うへ中村主  
け時操座豊竹肥前猿壇町。又別其居。爰原大商。夫。舟うぶをみてこす  
て。あうと。八月大谷慶治経。圓頓院頭理日證。大專寺。嵐小六。自公廢の後  
侍団嵐小六。能名索船とりひが江戸へ下り。抱持小走り。りとぬあるとたへ  
もへうをあひ。されば抱持より。雜助とく。能名と。妻。水魚のすらう  
周雅のよも。时ふ男子と。殺。その名を。雜助とく。生長して。と。殊名  
人。上ひと。眼獅とく。是す。

森田幸四郎。諱の冠者。一役土左。侍吉。と。義挿と  
からざの出。も。吉祥。のらん。まの天人。み仰。と。の。根。山本吉良。が。小性。言。三  
伏野川半兵。大。死。る。八月。次村家十郎。没。次村長十郎。と。あり。て。下る。中村  
左近伊豆軍勢相模綱。まごの。み布。海を。參。赤。次山。あそ。き。ま。の。お。く。う。六十九。左近  
あり。て。お。氣。一。味。を。あ。ひ。その。返。ひ。け。大。石。を。持。乗。し。よ。と。く。ゆ。き。れ。バ。力。ア。ギ。を  
と。く。よ。づ。ふ。谷。そ。こ。と。ま。園。の。よ。市。侍。九。郎。と。あ。る。と。大。石。を。お。び。あ。く。そ。の。天。晴。と  
あ。り。付。へ。お。政。が。お。せ。の。ま。耳。の。ある。黒。の。あ。り。と。く。う。は。あ。り。バ。力。ア。ギ。を  
の。ま。す。て。源。氏。再。無。朝。公。へ。次。村。置。算。通。ひ。ぞ。と。り。大。だ。見。ニ。義。目。長。十。郎  
の。お。づ。の。三。郎。あ。そ。京。都。と。下。ル。お。う。ら。股。野。と。と。う。き。せ。と。お。あ。う。出。  
妻。浦。木。ア。ん。手。と。あ。と。と。宣。が。基。盤。り。う。後。ふ。海。老。參。股。野。と。基。の。白  
石。と。河。岸。へ。うち。つけ。懷。中の。院。宣。と。え。坐。と。階。合。す。ま。な。實。へ。と。承。り。く。が。む。を。五  
條。野。と。え。あ。と。や。又。入。和。が。して。お。軽。の。味。方。と。ある。比。私。三。人。古。今。の。大。商。三。千  
両。の。額。見。世。と。り。ひ。世。と。う。の。時。る。近。江。小。夜。太。家。三。章。う。み。夜。中。村。七。三。比。私。と。せ

りづきも大ありふて

大極上上士口根生

市川海老秀

極上上吉

瀧川兼之丞

市村庄

(出世紅葉符)

波辺

さむくの江口波辺東彦二希

らべの言葉を西良

丁七唱津井門三希

とせぐ長毛唐か不京四良。よう政み伏の内市ねがの歌川兼之丞良。すこりの希小六。兼のこゆう  
室なあや一女母子の西紀猪の早太ふ龜多。儀又を良鬼作教徒助良。何の大汗到りて  
大上上吉

坂東彦三良

上上上吉

中村助五郎

森山庄(即應女鉢木)

のをと

左弓山本高四郎。らべの舞舞舞并をとらむの奉芳次もめ。さくらん

まち波太郎と長刀の仕合大元赤星方舟波田義千希。せぐもと村中清助大秋田源三助

室舟也。十二月廿日大吉詠詠大吉

隨順院日喜信士

源川淨心寺中

